

令和5年度 第2回北山公園整備計画意見交換会次第

日時：令和5年9月9日（土）

午前10時から12時

場所：市民センター2階第6会議室

1. 開会

2. 議題

(1) 令和5年度事業（報告） 10:00

- ・施設整備事業（木道補修、その他）
- ・水田運営事業
- ・外来種防除事業
- ・その他

北山公園トウキョウダルマガエル等生息市民調査（5月27日（土））

北山公園いきもの探し（6月3日（土）、4日（日））

（菖蒲まつり期間6月3日（土）～18日（日）内）

第26回北山わんぱく夏まつり（8月6日（日））

(2) 北山公園施設改修基本設計について（報告） 10:30

- ・第1回意見交換の振り返り
- ・基本計画の振り返り
- ・基本設計検討にあたっての視点
- ・整備案の提示

(3) 保生橋上流の魚道工について（報告） 11:30

3. その他

令和5年度 北山公園整備計画意見交換会開催日程

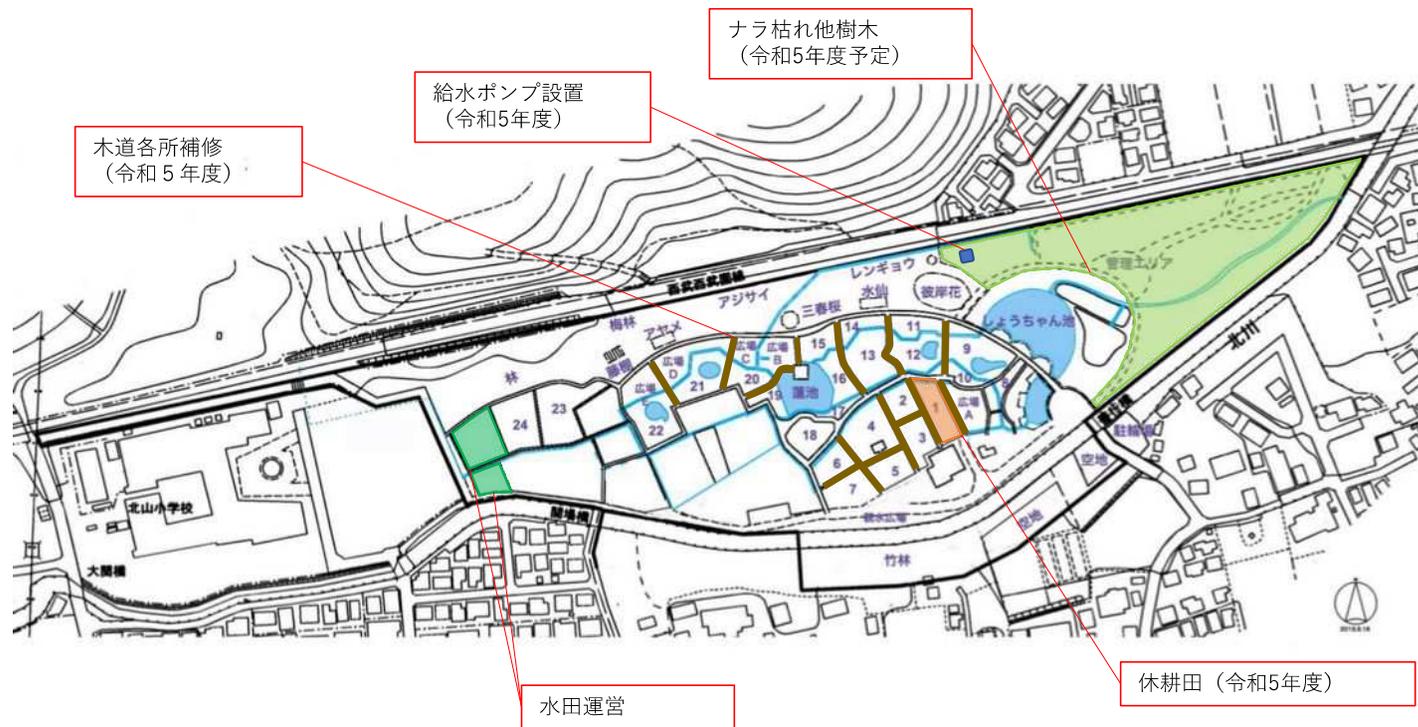
- ・第3回：令和6年2月10日（土） 午前10時から
市民センター2階 第6会議室

4. 閉会

(1) 令和5年度事業（報告）

- ・施設整備事業（木道補修、その他）、水田運営事業、外来種防除事業、その他（北山公園トウキョウダルマガエル等生息市民調査、北山公園いきもの探し、第26回北山わんぱく夏まつり）について、概要を説明した。

令和5年度事業の概要



令和5年度 北山公園 水田運営事業

○令和5年度 実施状況（ボランティアの皆さんとの協働のもと実施）

項目	日にち	時間	備考
1.水田ボランティア募集	3/1(水)～ 3/24 (金)	—	令和5年度新規ボランティア募集
2.荒起こし①・オリエンテーション	4/11(火)	9:00～15:00	新規ボランティア説明会 年度初めのオリエンテーション
3.荒起こし②	4/25 (火)	9:00～15:00	レンゲ刈り
4.種もみ消毒	5/2 (火)	9:00～12:00	
5.種まき	5/9 (火)	9:00～12:00	
6.荒起こし③・代かき	5/16 (火)	9:00～15:00	
7.苗の成長確認	5/23 (火)	9:00～10:00	
8.田植え	6/6 (火)	9:00～15:00	
9.草取り①・ミーティング	6/20 (火)	9:00～12:00	前半作業の振り返り
10.草取り②	7/4 (火)	9:00～12:00	
11.草取り③	7/18 (火)	9:00～12:00	
12.ミーティング・後半作業準備	9/5 (火)	9:00～12:00	
以下今後の予定			
13.稲刈り・稲架架け	10/3 (火)	9:00～15:00	1日ボランティア募集
14.脱穀・粃摺り・精米	11/7 (火)	9:00～16:00	1日ボランティア募集
15.ミーティング	12/5 (火)	10:00～12:00	ふりかえり・次年度に向けて

○主な活動の様子

荒起こし・オリエンテーション

4/11 (火) 9:00~15:00

参加者：ボランティア21名、スタッフ2名



・ボランティア説明会



・荒起こし作業

種まき・苗床作り

5/9 (火) 9:00~12:00

参加者：ボランティア11名、スタッフ2名



・種まき



・苗床作り

田植え

6/6 (火) 9:00~15:00

参加者：ボランティア15名、スタッフ4名



・田植え



・水中ポンプで強制排水

草取り

6/20 (火) 9:00~14:00

参加者：ボランティア11名、スタッフ3名



・草取り



・草取り

令和4年と令和5年の変更点

- ・ボランティアを公募
- ・米の種類をマンゲツモチ（もち米）からキヌヒカリ（うるち米）に変更
- ・稲刈り作業と脱穀作業日に1日ボランティアを募集予定



■2023年外来生物捕獲結果

2023/9/2
北川かつぱの会

ワナの設置期間	捕獲物				
	ウシガエル成体	ウシガエル幼生	アメリカザリガニ	アカミミガメ	クサガメ
4/1~4/8					
4/8~4/18					
4/18~4/22	1				
4/22~4/29					
4/29~5/8			1		
5/8~5/14		1	4		
5/14~5/21	1				
5/21~5/27					
5/27~6/4		100	5		
6/4~6/13	1		8		
6/13~6/20		1	22		
6/20~6/25			65		
6/25~7/1	1	8	44		
7/1~7/8		17	32		
7/8~7/15		35	85		
7/15~7/22		22	99		
7/22~7/29		48	47		
7/29~8/6		10	20		
8/6~8/15		14	24		
8/15~8/26	1	5	15		
8/26~9/2		6	20		
合計	5	267	491	0	0

捕獲方法:ドーム型カニカゴ3、遮光型カゴ網2、改良型アナゴ網7

■参考;過去10年間の推移

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
ウシガエル(成体)	2	1	3	42	102	44	53	63	39	15
ウシガエル(幼生)	10	24	約550	192	77	282	1137	516	342	201
アメリカザリガニ	99	126	約550	約760	765	354	784	779	1037	957
アカミミガメ	9	11	4	2	5	3		1	2	
クサガメ(再捕獲を)	13	10	8	1	4	2		1		1
アライグマ						2				

令和5年5月27日（土）北山公園 トウキョウダルマガエル等生息市民調査



トウキョウダルマガエル

環境省レッドリスト：準絶滅危惧種
東京都レッドリスト：絶滅危惧Ⅰ類
1年中田んぼなど水辺にすみ小動物を食べる。ゲゲゲと鳴く。



シュレーゲルアオガエル

東京都レッドリスト：絶滅危惧Ⅱ類
田んぼなどに産卵するが草地や低木上で見かける。ケロロロと鳴く。

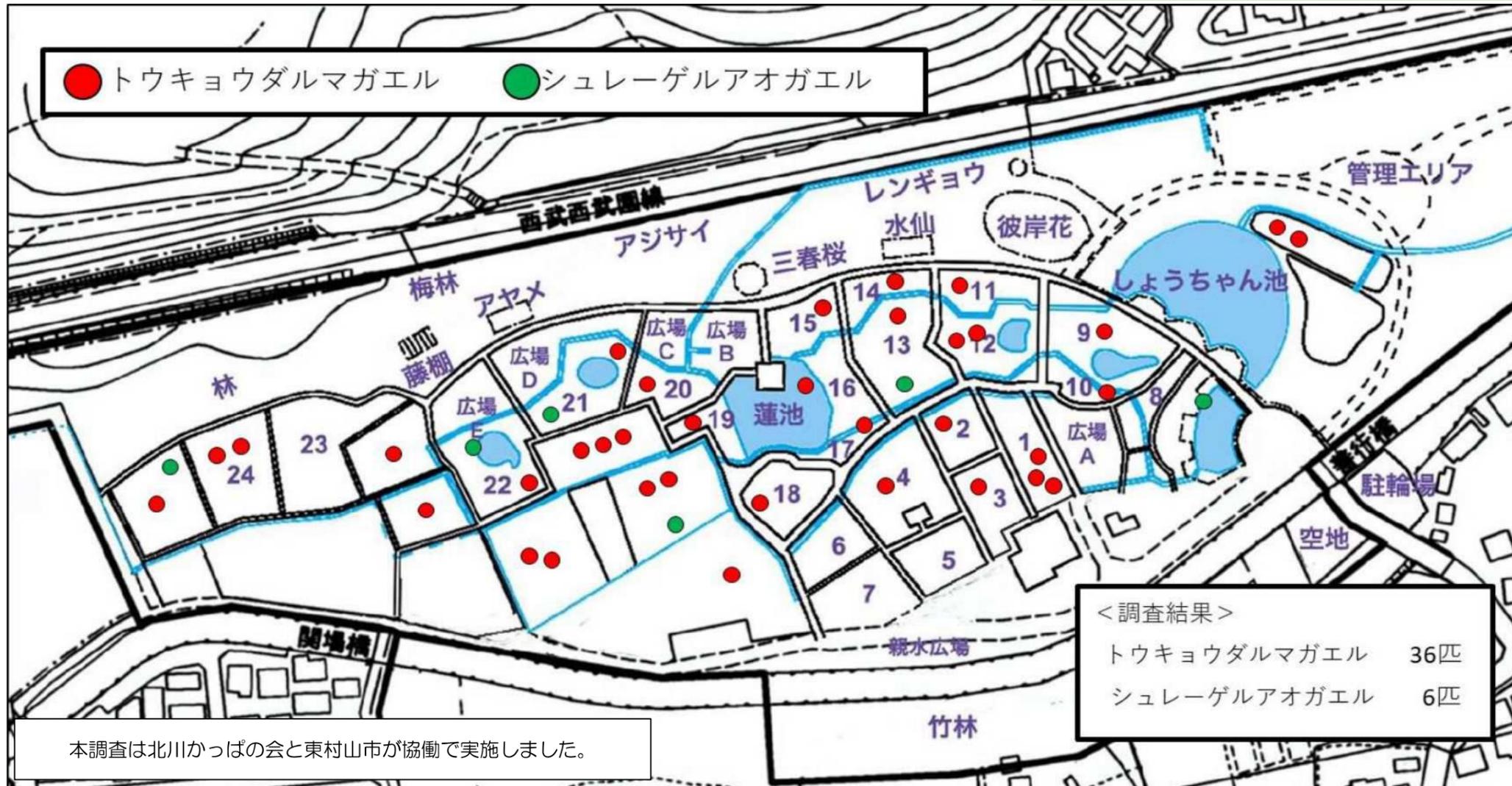
調査方法：番号分けされたエリアで鳴き声が聞こえたカエルの数をカウントする。集計後、各エリアで一番数が大きい値を正とする。

(例) エリア1でトウキョウダルマガエルの声を聞いた人が3人いて、それぞれの人が見えた数が3匹、1匹、2匹の場合⇒エリア1には3匹いたとカウントする。

調査対象：トウキョウダルマガエル、シュレーゲルアオガエル

参加者：14名

結果（下図参照）：トウキョウダルマガエル36匹
シュレーゲルアオガエル6匹



調査の様子



令和5年6月3日（土）、4日（日）北山公園いきもの探し



トウキョウダルマガエル



シュレーゲルアオガエル



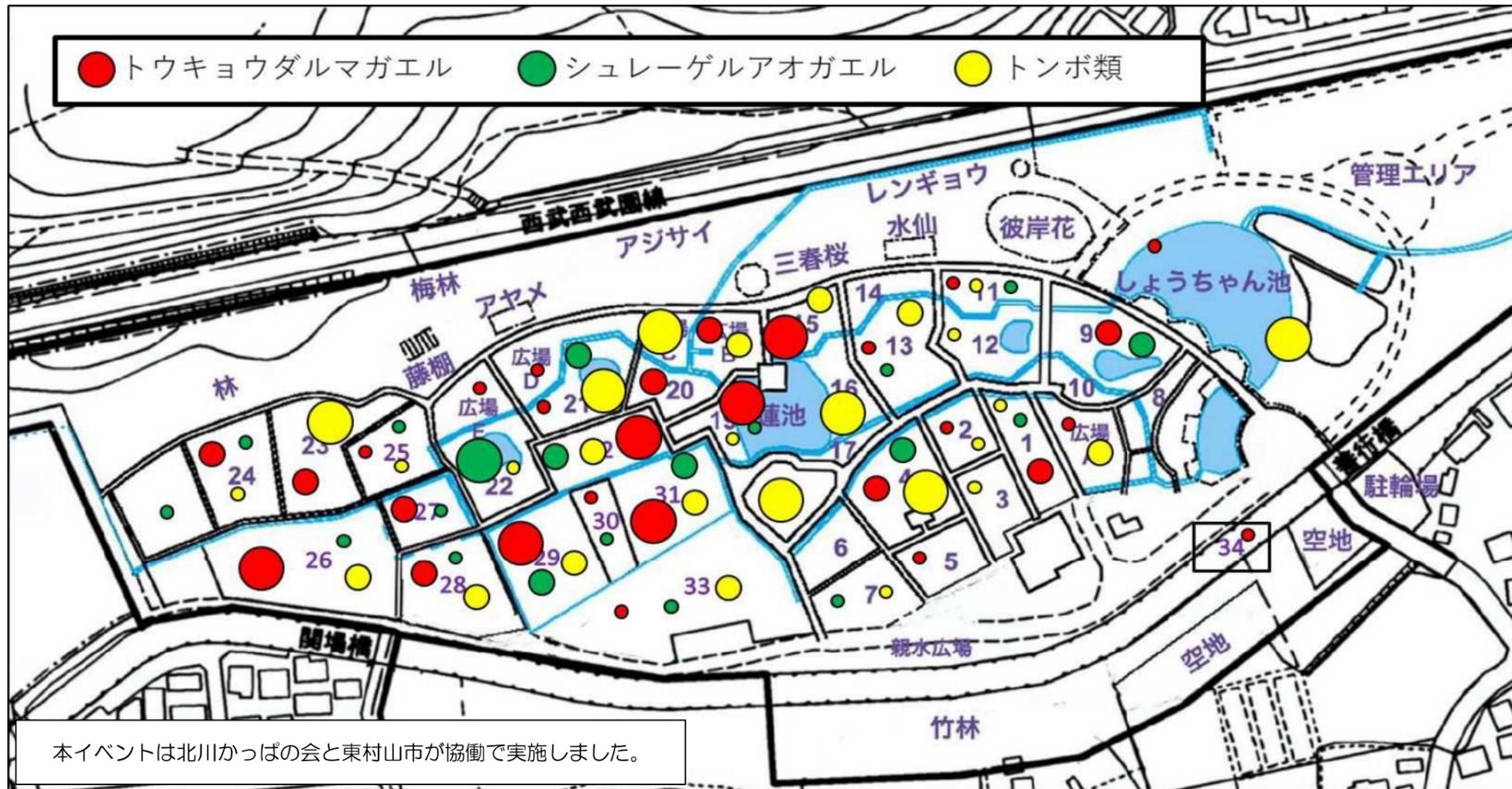
シオカラトンボ

調査方法：番号分けされたエリアにて、カエルは鳴き声が聞こえたら、トンボ類は姿を見つけることが出来たら、そのエリアにチェックをつける。

調査対象：トウキョウダルマガエル、シュレーゲルアオガエル、トンボ類（10種類）

参加者：70名

結果（下図参照）：●（まる）の大きさが大きいほど、そのエリアでたくさんの方がいきものを見つけられています。



イベントの様子



6/3～18に開催された菖蒲まつりにて、北川水族館と同じブースで実施しました。

(2) 北山公園施設改修基本設計について（報告）

- ・第1回意見交換の振り返り、基本計画の振り返りを行った後、基本設計検討にあたっての視点、整備案の提示について、報告、説明を行った。

(2) 北山公園施設改修基本設計について

1) 第1回意見交換の振り返り

項目	質問・意見 (): 発言者、青字: 要望・意見	対応
しょうちゃん池	アシの扱い ・(出席者) アシをそのままにするか、抑制して水面を維持するか、検討する必要がある。	・多様な水辺環境とするため、水面と水生植物帯を維持する方向で検討しています。 ・アシの範囲は、①自然環境②しょうちゃん池の設備的な機能確保の2点から検討します。
管理エリア	湿地帯の乾質化 ・(出席者) 奥の湿地帯が乾質化してきている。湿性植物に付随する生きものが多いので、湿地の特性を伸ばしていく検討をした方がいい。ワンド的なエリアをつくり、善行橋側にもう1本水路を通して、水を流すのがいいと考えている。	・湿地帯として維持する方向で検討しています。 ・次回のかいぼり時に、しょうちゃん池の構造を詳細に把握し、水深を確保する方法を検討します。 ・ヨシ・オギを刈り取るなど、陸化対策も検討します。
ナラ枯れへの対応	バックヤード樹林再生の考え方 ・(出席者) クヌギ・コナラをメインにした雑木林として更新するのがよいと思う。早めに手を打って、苗木を植えて転換していくという方針を取るしかないと思う。新しい苗をどうするかも含めて検討してもらいたい。 →(みどりと公園課) 市としては、市内の公園全体で共通する考え方として、ナラ枯れしたコナラ・クヌギ林をすべて同じ樹種で再生することは考えていない。北山公園でも、エリアごとに役割を分けるのがよいと考えている。管理エリアは、北川の河畔林という見方をすれば、自然の遷移にある程度まかせた常緑広葉樹を中心とした樹林とするという考え方もあると思う。高木疎林型で再生する必要があるかは検討したい。早急に市として主体的に考えていきたい。 →(出席者) 代表的な多摩湖緑地と北山公園は雑木林を維持できればと考えている。	・現況の樹林の樹種構成や状況などを踏まえて、方向性を検討していきます。
草地広場	・(出席者) 草地の環境を維持することが北山公園の生物多様性にとって重要。 →(グラック) 例えば草丈が異なるエリアをつくるなどの検討はしたいと思っている。隣接する水路と草地のつなげ方(エコトーン型にする等)についても考えたい。 →(みどりと公園課) 草丈は、例えばエリアを分けてメリハリをつけるなど、工夫する必要がある。	・基本計画では草地環境を維持する方向で検討しています。 ・整備までの期間においても、多様な草丈のある環境は、維持管理作業の中で、つくっていきます。
水路のシジミ	・(出席者) 2期となっている草地広場に面した水路は、シジミが一番多く生息している大事な場所なので、検討の際には考慮してほしい。	・北川からポンプアップした水にシジミが含まれていて、流れが緩やかな砂地の場所に生息していると考えられます。 ・現在と同じような環境をつくるよう検討します。

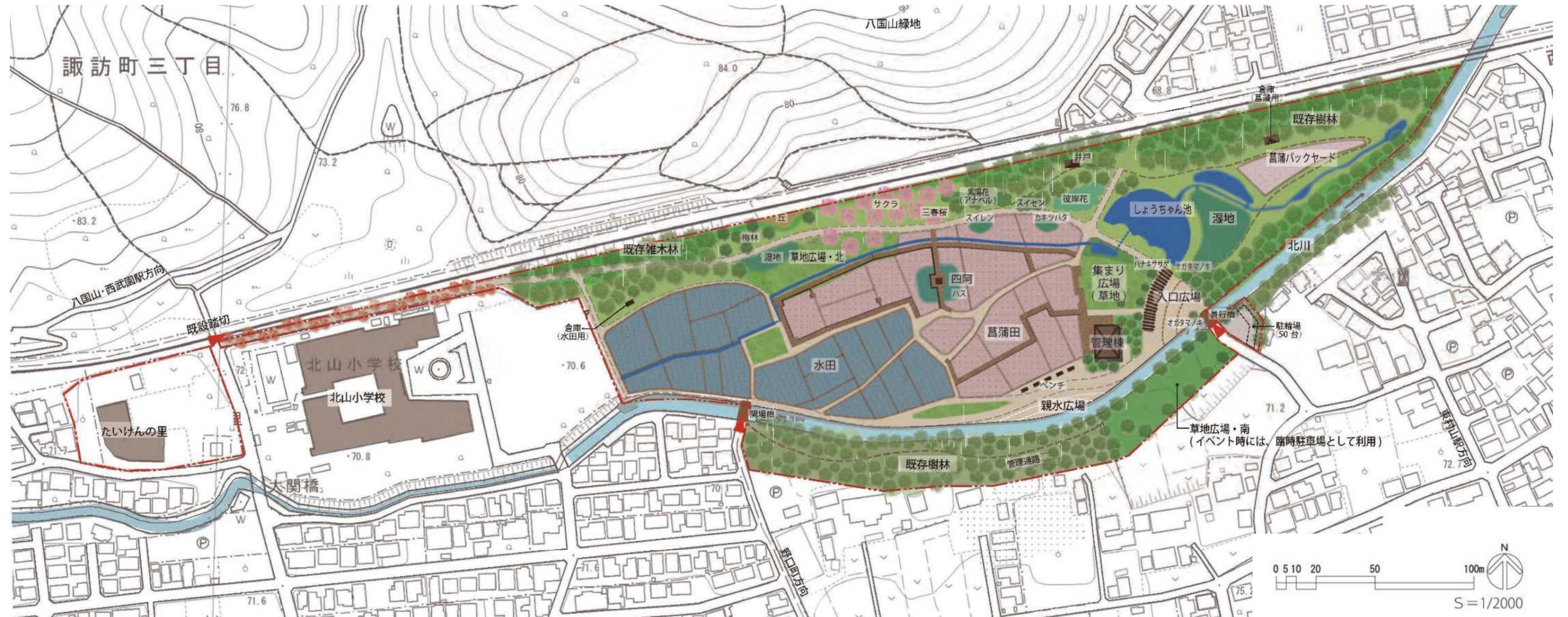
項目	質問・意見 (): 発言者、青字: 要望・意見	対応
水田	・(出席者) 水田が増える計画になっているが、一部は草地や畑にするのがいいのでは。春先だけ花を植えて子供たちが花を摘んだり遊んだりできるスペースにするなど。 ・(みどりと公園課) 管理にかかる人手とのバランスを踏まえて、一部を子供たちが遊べる草地や畑、水を入れて泥遊びやガダリンピック(干潟で行う運動会)ができる場所にするなども検討したい。今後皆さんとディスカッションしながら詰めていきたいと考えている。	・人力だけで水田を維持することが難しいため、農機を入れることも検討したいと考えています。 ・水田は、水田活動の仕組み・体制に応じた規模とし、残りは生き物が生息できる湿地として維持することも検討します。

2) 基本計画の振り返り

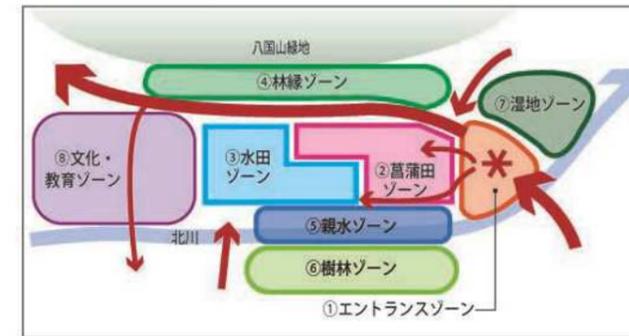
○基本方針

- ・これまで大切に守り、利用されてきた「里山の景観」「水田」「樹林・草地、湿地」「子供の遊び場」を保全する。
- ・菖蒲田は管理等の費用対効果、開花期以外の状況を踏まえ、現状以上に拡張しない。
生きものの生息環境となっていることを踏まえ、広場などへの湿地機能の転換や大規模な現象に繋がる改修は行わない。
(一部、子供の遊び場確保および水路・木道改修に伴い、形状を変更する)
- ・一年を通して、水田や植物、生きものによる季節の変化を体感できる環境を創出し、水路にも通年で水を流すよう検討を行う。
- ・生きものが生息しやすい環境と、子供が遊びやすい環境を充実させる。
- ・公園の管理や活動の拠点となる施設や場を整備する。

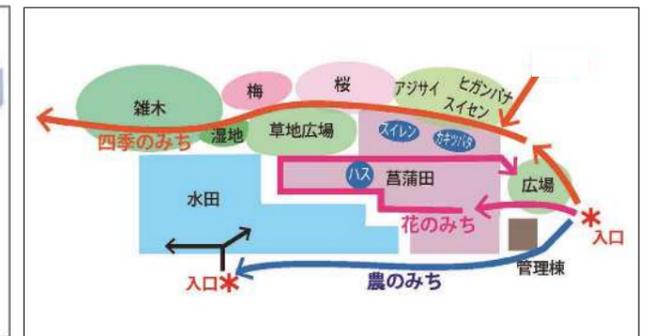
○基本計画平面図



基本計画平面図



基本計画のゾーニング概念図



基本計画の動線システム図

3) 基本設計検討にあたっての視点

現況測量

- 現況測量（地形・高さ・樹木位置）をもとに、施設配置・園路線形・造成高の見直し

利用

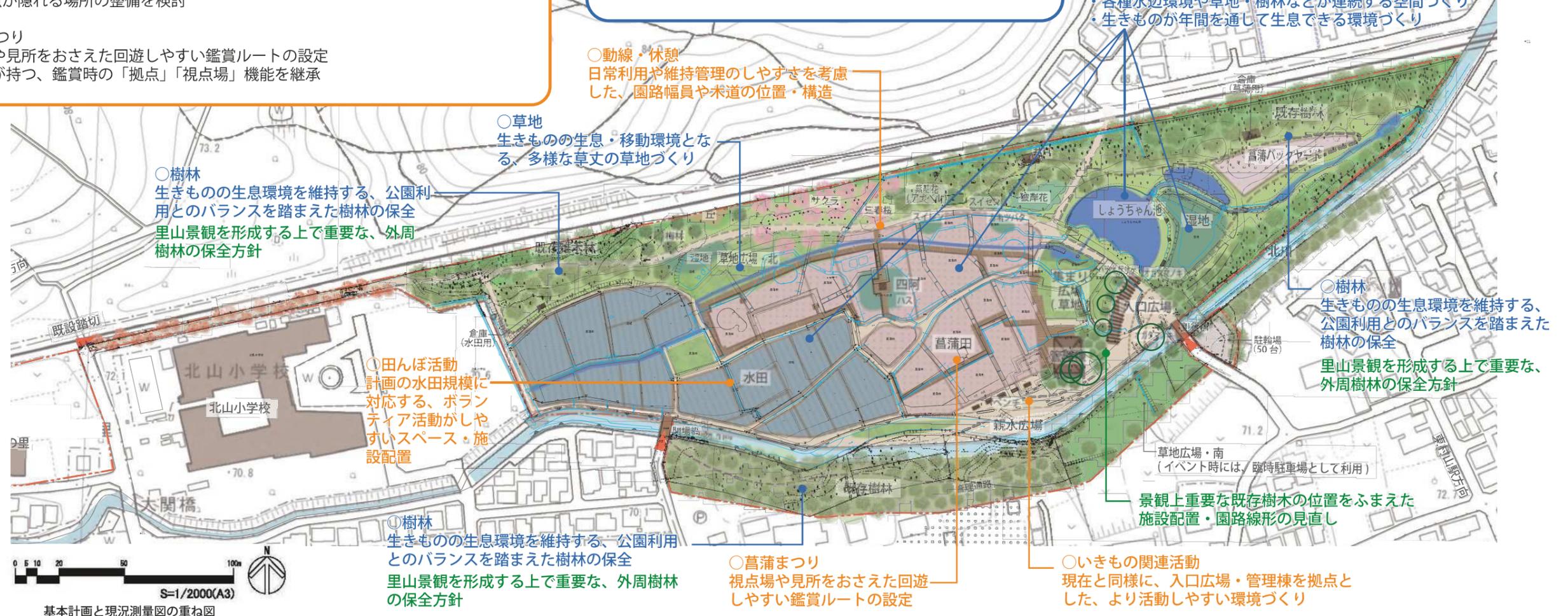
- 日常利用（動線・休憩）
 - ・日常の利用や維持管理のしやすさを考慮した、園路幅員や木道の位置・構造
 - ・北山公園ならではの景観を楽しめる場所などへの休憩施設の配置
- こどもの遊び
 - 【水路】生き物に親しむ場となる親水空間づくり
- 田んぼ活動
 - ・水田規模に対応する、ボランティア活動がしやすいスペース・施設の配置
 - 【活動・作業スペース】水田周辺で各種農作業ができるスペースの確保
 - 【給水設備】活動しやすい整備（給水設備、洗い場など）
 - 【道具倉庫】運営を踏まえた設置場所、規模、景観配慮 など
- いきもの関連活動
 - ・現在と同様に、入口広場・管理棟を拠点とした、より活動しやすい環境づくり
 - 【管理棟と周辺】イベント時に北川と一体的に使える建物配置や建物内・周辺の空間づくり、道具類を収納する倉庫の確保
 - 【北川】魚が隠れる場所の整備を検討
- 菖蒲まつり
 - ・視点場や見所をおさえた回遊しやすい鑑賞ルートの設定
 - ・管理棟が持つ、鑑賞時の「拠点」「視点場」機能を継承

景観

- 景観上重要な既存樹木の位置をふまえた施設配置・園路線形の見直し
- 里山景観を形成する上で重要な、外周樹木の保全方針
- 入口や視点場の空間づくり、休憩施設などの配置

生きもの

- 水辺環境
 - ・水田、菖蒲田、湿地、池、水路など、多様な水辺環境に生息する生きものの生息環境を維持・保全し、さらに向上させる整備・管理方法
 - ・各種水辺環境や草地・樹林などが連続する空間づくり
 - ・生きものが年間を通して生息できる環境づくり
 - 【水路】通年で水が流れる仕組みづくり
 - 【水田・菖蒲田】カエルなどの両生類が産卵、越冬できるように、水田、菖蒲田の管理とのバランスを図りながら、部分的に通年で水が溜まっている環境づくり
 - 【西側湿地】多様な生きものの生息・移動環境を確保する、水路、湿地、草地、樹林が連続するエコトーンづくり
 - 【しょうちゃん池・湿地】多様な生き物や植物の生息・生育環境、移動しやすい環境となるよう、現況課題を改善するエコアップの方策
- 樹林
 - ・樹林に飛来する鳥類、生息する生きものの生息環境を維持するため、公園利用とのバランスを踏まえた樹林の保全
- 草地
 - ・生きものの生息・移動環境となる、多様な草丈の草地づくり



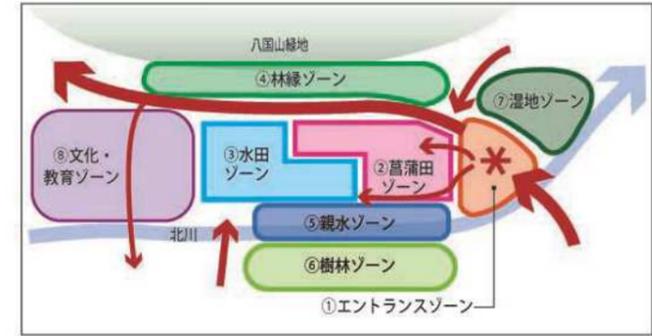
0 5 10 20 50 100m
S=1/2000(A3)
基本計画と現況測量図の重ね図

4) 整備計画案の提示

○ゾーニング計画

基本計画のゾーニングの考え方を踏襲し、一部見直しを行い、9つのゾーンを設定。 ※青字：基本計画からの変更箇所

- ・④林縁ゾーン内に既存湿地を中心とした「エコトーンエリア」と「水路の親水エリア」を新たに位置づけ。
- ・基本計画の⑦湿地ゾーンを、「池・湿地」「バックヤード」「樹林」ゾーンに分けて設定。



基本計画のゾーニング概念図



○動線計画

- ・3箇所の入口どうしや管理棟、各広場をスムーズにつなぐ、利用しやすい動線（園路）を整備。
- ・管理用車両が園内を周回できる、幅員3m程度の園路を整備。
- ・花菖蒲の鑑賞動線は、順路を限定せず、楽しみ方や時間に合わせて来園者がルートを選択できるように、園路・木道をスムーズにつなげる。
既存の木道基礎を活かして舗装園路に転用し、部分的に木道を新設。



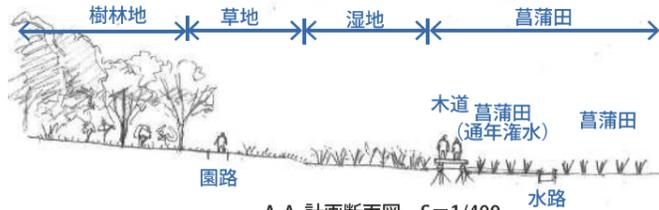
■ 整備計画平面図 (案)

○西側湿地周辺 エコトーンエリア

- 西側の樹林から、草地～湿地～菖蒲田～水路へと、陸域から水辺につながるエコトーンをつくり、草地的な昆虫、陸域と水辺を行き来するカエル類等の生息に適した環境を維持する。



木道のイメージ



A-A 計画断面図 S=1/400

- しょうちゃん池・湿地
 - 多様な生き物・植物が生息、移動しやすい環境をつくる。(池内に水生植物帯や浅場をつくるなど)
 - 開放水面と湿地(ヨシ・オギ原)へと続くヨシの抽水植物帯(エコトーン)を維持する。
 - かいぼりを実施し、池内の構造・設備等を把握する。
 - 湿地は、水深の確保やヨシ・オギ刈り取りなどの陸化対策を行い、園内随一の抽水湿性植物帯を維持する。

- バックヤード
 - 菖蒲田のバックヤードを湿地の北側に整備。
 - 維持管理用倉庫・休憩スペースの整備を検討。

○西側線路沿い樹林

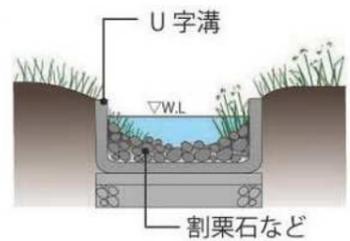
- ナラ枯れ被害木は順次伐採。
- 斜面部はシラカシ・スダジイを育成し常緑広葉樹林へと移行していく
- 遊びと林床植生保護の区域を区切る
- 平場部は、落葉広葉樹林を維持する
- 水田側の土手部に林縁性の野草を植栽

- 東側樹林
 - ナラ枯れ被害木は順次伐採。
 - ケヤキの大径木や下層のシラカシ・スダジイ等を育成し、常緑・落葉広葉樹混交の屋敷林的環境を維持する。
 - 線路沿いのトウネズミモチ列植は伐採する。
 - メタセコイアは保存。樹高を抑制する。

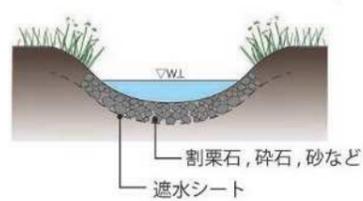
景観上重要な既存樹木(ケヤキ・モミジ・入口部のサクラ・ハナキササゲなど)を保存し、園路や管理棟などを配置

○水路

- 大関橋ポンプを冬期(10-4月)稼働させ、通年水が流れる環境をつくる。
- 水田に水を供給する水路は、漏水しづらいU字型溝ブロックなどを用いた構造とする
- 菖蒲田に水を供給する水路は、多自然型の構造とする



水田用水路のイメージ



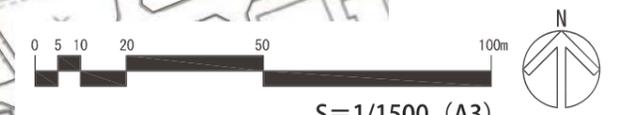
菖蒲田用水路のイメージ

○水田・菖蒲田

- カエルなどの両生類が産卵・越冬できるように、水田、菖蒲田の管理とのバランスを図りながら、部分的に通年で水が溜まっている環境をつくる。

○北川南側樹林

- 樹林に飛来する鳥類、生息する生きものの生息環境の維持と樹林の持続性、管理のバランスを踏まえ、樹林を保全する。
- 東側市有地は竹林を維持する。
- 西側民有地は屋敷林的環境を維持する。
- 公園内からの「緑で囲われた里山景観」をつくる樹林としての役割を維持する。



S=1/1500 (A3)

(3) 保生橋上流の魚道工について（報告）

- ・道路河川課より報告。

保生橋と西武園線の鉄橋の間に施工を予定している魚道工について説明・報告を行った。

本魚道については、西武園線の鉄橋への影響を考慮し、西武園線鉄橋部に位置する落差工を撤去するのではなく、落差工の下流側に魚道を接続する形で工事を行う。また、本魚道工事においては、善行橋部の魚道工で使用した布製型枠工法を採用するほか、善行橋魚道工と同様に、水流の前面に玉石を配置し、その背面に穴をあけて小魚が一時的に休めるようなスペースを設ける形としている。



位置図



善行橋魚道工写真



落差工現況写真



善行橋魚道工写真



河川・水路関連工事

河川改修工 ■ 護床工 ■ 砂防工 ■ 災害復旧工 ■ 山腹水路工



東金市 = 北幸谷川 (FP100)



明野町上野土地改良区 = 鶴田導水路 (FP65&GP65)



浜松市 = 屋島川 (FP100)



中四国農政局 = 笠岡干拓排水路工 (NF100RJ)



神奈川県 = 中津川 (FP150)



長野県 = 県道改良付排水路工 (CX200)



水資源開発公団 = 打上調整池水路工 (CX300)



日本道路公団 = 長野道水路工 (FP150)



東海農政局 = 宮田導水路 (NF100)



栃木県 = 荒川災害復旧工 (CX300)



北山村 = 残土処分場 (CX200)

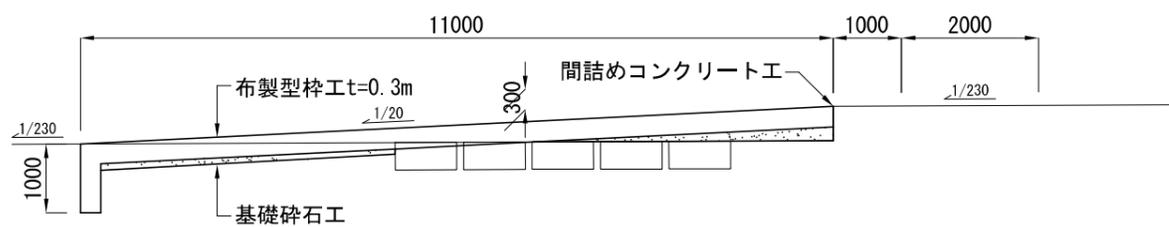


民間 = 河川護岸工事 (GP150)

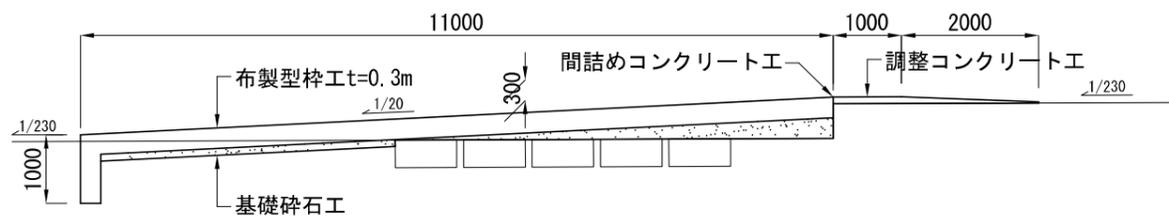
魚道工構造図

縦断面図

1-1断面

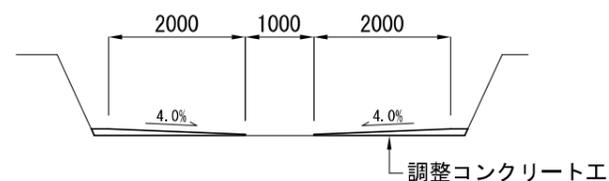


2-2断面

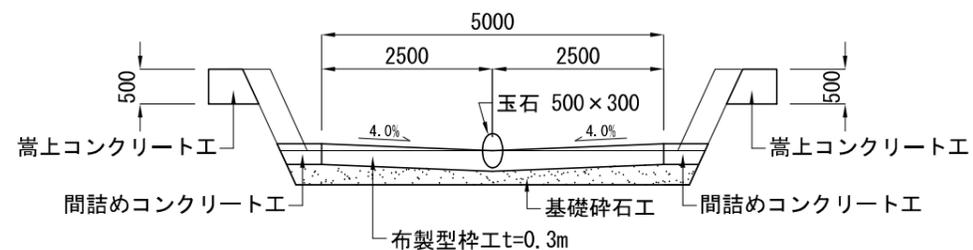


横断面図

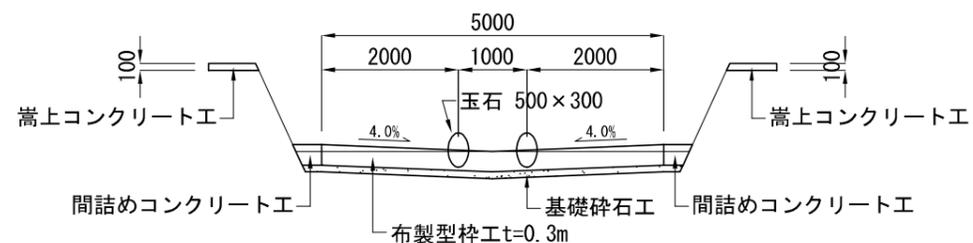
3-3断面



4-4断面



5-5断面



平面図

